

歴史的まちなみの伝統的木造建造物をさまざまな災害から護りぬく

シリーズセミナー第2回

平成28年4月24日(日) 午後1時~4時頃(開場 午後0時30分)

火災の実態と建築物の防耐火に関する基本

関西木造住文化研究会は、これまで京町家をモデルに伝統木造住宅の伝統文化を活かした防災性能の向上や再評価を目指して様々な活動を続けてきました。本セミナーでは、これまでの研究成果をふまえて、歴史的まちなみの伝統的木造建造物を、木造伝統文化・伝統意匠を活かした手法で様々な災害から護り、被害を軽減するための課題と対策をさまざまな視点から学び、考えます。お気軽にご参加下さい。

プログラム (午後1時~4時頃、終了後 懇親会)

はじめに

会場建物見学「伝統の自然材料と伝統構法の知恵を活かした防火改修の要点を学ぶ 基礎編」(30分)

武田 眞理子 (KARTH 防火・耐震研究チーム) 宮下 憲次 (元数寄屋研究所心傳庵 大工)

最近の研究開発によって、木や土壁を使った伝統的な木造住宅でも、伝統の自然材料や伝統意匠を活かして建築基準法の防火性能を満たせる方法が解き明かされてきました。また、耐震性能と防火性能は非常に関連性が強いので、耐震改修と防火改修を一緒に行うことが有効です。これらの要点を、会場の耐震・防火改修町家「西陣 藁ノ家」の見学と KARTH 既往研究成果のテキスト*1、映像等を通してわかり易く解説いたします。



西陣藁ノ家の旧トオリニワ

講義「火災の実態と建築物の防耐火に関する基本」(1時間半程度)

吉田 正友 (大阪工業大学・特任教授(博士(工学)))

歴史的に見ると、過去には市街地大火が頻発していた時期がありました。京都においても、応仁の乱以後、江戸末期まで大火災の都度、多くの寺社が焼失、移転を余儀なくされました。大火が頻繁に発生する時期が過ぎて、ビル火災による大量死が注目を集め、最近では人口の高齢化に伴い、住宅火災による死者数の急増が見られます。過去の火災を振り返り、現在の火災の実態を解説いたします。火災の脅威を改めて認識した上で、建物火災の教訓について述べ、防火意識の向上に役立てたいと思います。また、将来想定される地震後火災の備えとして、都市火災の変遷についても触れたいと思います。さらに、火災に対する防御の一つとして必要となる建物火災に関する防耐火規定について、基本的な事項を解説いたします。



木造共同住宅の火災実験

意見交換 (45分程度)

講師 吉田 正友 氏のプロフィール

日本鋼管(株)(現・JFEホールディングス(株))にて建材開発に従事。その後、(一財)日本建築総合試験所に勤務し、耐火防火試験室長、建築物理部長として、建築の防耐火性能に関する試験・研究に従事。2013年より大阪工業大学客員教授、2014年より現職。日本建築学会火災診断補修小委員会主査など各種委員を歴任。日本火災学会賞、日本鋼構造協会業績賞などを受賞。「建物の火災診断および補修・補強方法 指針・同解説」(日本建築学会、共著)などを執筆。

会場：西陣^{ヒコバエ}ノ家(京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ヶ東西町 632 番地、角地、東隣青空駐車場)

*^{ヒコバエ}ノ家とは、枯れ木の根元から新しい芽が生えることを意味しています。

参加費：1000 円（資料付、会員 800 円、学生無料）終了後の懇親会 300 円（学生無料）

参加方法：お名前、所属、電話・FAX 番号、メールアドレスと懇親会の参加の有無を明記の上、セミナー開催日の 1 週間前までに FAX またはメール、電話でお申込み下さい。
申込時点で参加受理とさせていただきます、ご返事は省略させていただきます。

参加申し込み・問合せ先：NPO 法人 関西木造住文化研究会（略称 KARTH：カース）

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、

E-mail info@karth.sakura.ne.jp <http://karth.org/>

京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ヶ東西町 632 番地

当日配布資料：「住まい手向け既存伝統木造住宅の防火・耐震改修リーフレット」（*1）他

会場の交通アクセス

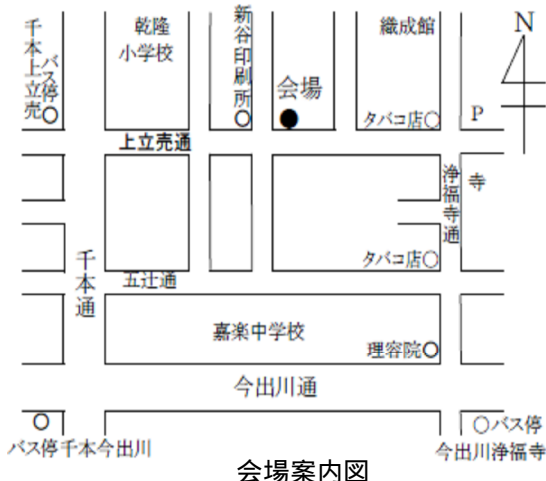
・バス停「今出川浄福寺」又は「千本今出川」又は「千本上立売」より徒歩約 5 分

・JR 京都駅より（所要時間 約 40 分、角地）

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口、烏丸今出川交差点の
今出川通 東側バス停から西行きバス乗車、「今出川浄福寺」下車

市バス利用：A3 の 206 番に乗車、バス停「千本上立売」下車、または
B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車

会場



^{ヒコバエ}西陣ノ家（下記所属は当時の内容、WM:ワーキングメンバー）
・改修設計：KARTH(担当 悠計画研究所(田村佳英、武田真理子)&木下孝一(数寄屋研究所心傳庵 大工棟梁)、WM23 名)
・改修施工：数寄屋研究所心傳庵
・改修前後の振動実験：統括指導 鈴木 有(秋田県立大学木材高度加工研究所 教授)、WM23 名
・土壁耐震実験：統括指導 鈴木 有(前掲)、実験 村上雅英(近畿大学 助教授)&村上研究室、WM22 名
・土壁防火実験：統括指導 長谷見雄二(早稲田大学 教授)、実験協力 日本建築総合試験所、WM18 名
・「京都西陣の町家再生～西陣ノ家(ヒコバエ)ノ家～とその構造・防火温熱環境性能の検証」活動は、NPO 木の建築フォーラム主催・2003 年度第 1 回「木の建築賞大賞」を、研究者の方々と共同受賞。
・京都市市街地景観条例歴史的意匠建造物。防災協力井戸あり。

シリーズセミナーの予定（5 月以降は詳細が決まり次第お知らせいたします）

第 1 回 3 月 6 日（日）午後 1 時～4 時頃、「樹木災害と文化財防災」

講師 小玉泰義（岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室）

第 2 回 4 月 24 日（日）午後 1 時～4 時頃、「火災の実態と建築物の防耐火に関する基本」

講師 吉田正友（大阪工業大学・特任教授（博士（工学））

会場（共通） 西陣^{ヒコバエ}ノ家